

# 鶏肉情勢

平成30年7月2日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	<p>1. 国内 (1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会6月下旬実施)によると、5月の推計実績は、処理羽数59,238千羽(前年比103.0%)・処理重量177.3千ト(同101.6%)となった。前月時点での計画より処理羽数(計画比102.6%)、処理重量(計画比100.7%)ともに上回った。特に例年より4・5月の平均気温が高く、桜の開花が異常に早かった北海道・東北地区が、前年比で大幅(105.3%、104.3%)に上回った。また、全国的には廃棄割合の減少(前年差△0.25%)等も要因と考えられる。</p> <p>(2) 6-8月計画で、6月は曜日周りで稼働日数減少や気温の急激な上昇等の影響で処理羽数は前年並みも処理重量は大幅に下回る計画(前年比97.7%)。7-8月は、処理羽数・処理重量とも前年を上回る計画となっており、7月で北海道・東北地区(同102.5%)、8月で北部・南九州地区(同103.6~103.7%)がやや大きく上回る計画で計画している。猛暑による生産下振れも考えられるが、急激な暑さや他畜種の出回り等で需要が若干弱含むなかでの潤沢な供給は、販売部門での苦戦が予想される。</p>
	<p>2. 輸入 (1) 財務省6月28日発表の貿易統計によると5月の鶏肉(原料肉)輸入量は47.1千ト。累計(1-5月)では235.1千トとなり前年比112.1%と高水準となっている。国別輸入量では、ブラジルが34.8千ト(前年比98.8%)、タイが15.4千ト(同117.4%)となっている。日本食肉輸出入協会が6月18日開催の鶏肉輸入動向検討委員会で「ブラジルでのトラック業界のストライキはほぼ終息したとみられ、我が国の鶏肉輸入に及ぼす影響は限定的と見込まれる。在庫の減少に伴い、同国産の相場は上がってきており、それに引っ張られる形でタイ産の相場が上昇する可能性も否定できない。」とコメントしている。先行きの不透明感が現物出荷を止める動きが続き、ブラジルも正肉が仲間相場で350円を超えてきているが、多少加熱気味と考える。先物オファー価格は高騰しているものの、少し推移を見る必要があると思われる。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の5月輸入量は42.3千ト(前年比108.6%)。中国が同116.7%の18.6千トと大幅に増加し、タイも同103.3%の23.4千トで全体累計(1-5月)が198.8千トとなり同110.6%の増加となった。今後も、唐揚げ・サラダチキンや串物等コンビニ・惣菜売り場向けの需要拡大は継続すると考えられ、この輸入拡大が精肉売り場にどの様に影響するのか注視が必要と思われる。</p>
需要	<p>1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、4月の全国一世帯当たりの生鮮肉消費(購入)金額は、家計消費が節約志向の高いなか前年比102.7%の5,898円と伸びた。うち鶏肉についても数量1,378g(前年比103.8%)、金額も1,281円(同101.0%)と前年を上回った。しかしながら単価については、まだ在庫過多であったブラジル解凍ももや国産のもも肉の特売が多かったこと等から前年比△2.7%と下回った。</p>
	<p>2. 量販・卸 (1) 日本チェーンストア協会によると5月の食料品販売額は、競合環境が厳しさを増すなかで来店客数の低迷が長期化しており、雨や気温の低い日が多かったこと等もあり農産品・その他食品(アイスクリーム・素麺等)が不振で前年比98.8%と2カ月連続で下回った。畜産品は、高単価のステーキや焼き肉用牛肉が好調も地域によりバラつきあり、やや相場の上昇している豚肉はしゃぶしゃぶ用を中心に好調、鶏肉はサラダチキンが好調を維持しているものの単価が下落しており伸び悩んだとの報告となっている。</p>
在庫	<p>3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる4月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前月同様にサラダチキンや唐揚げの需要拡大等による国内製造拡大を背景に、前年比105.1%の4.85千ト。うち国内物は同96.9%の3.92千トと下回ったものの輸入物が安価なタイ産むね肉の使用増加等で同163.5%の0.92千トと報告された。国産むね肉価格が下落してきたが、規格のこともあり今後も輸入物の比率が上がる事が考えられる。</p>
	<p>1. 30年4月 (1) 国内生産量は前月より3.3千ト減少し、輸入品の数量は6.1千ト増加した。推定出回り量は、国産が135.8千トとほぼ前月と変わらずも、輸入品が2.4千ト減少したことにより、4月の推計期末在庫は前月比で減少したものの国産25.9千ト(前年比102.9%)、輸入品144.8千ト(同130.9%)合計170.7千ト(同125.7%)と依然前年を上回る水準となった。</p>
相場	<p>2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構によると5月の鶏肉出回り量は前年比105.5%と増加すると見込んでいるものの、生産・供給量も同103.3%と増加を見込んでいる。また輸入量は、ブラジルが同2.6%減少もタイが同21.7%増加し全体で同101.9%と増加を見込んでいるため、期末在庫は同121.5%の173.0千トと見込まれている。</p> <p>(2) 今後の需給予測として、6月は輸入量特にブラジルからが大幅に減少し前年比80.0%、生産・供給量も同99.3%、出回り量は同107.1%と増加することにより、推定期末在庫は国産・輸入品合計で同104.8%の158.2千トで昨年8月以来の150千ト台になると予測。7月は生産・供給量が前年比101.7%と増加、輸入量もブラジルが若干回復し同106.0%、出回り量も同107.5%となり在庫は同99.4%の146.8千トとなり、さらに減少すると予測されている。</p>
	<p>1. 6月動向 (1) 6月の平均相場は、もも肉564円/kg(前月比21円下げ)・むね肉272円/kg(同10円下げ)で、正肉合計で836円/kgと前月比31円下げ、前年比で129円の下げとなった。もも肉は末端販売の緩みを背景に下げ基調で月初め575円から月末555円と20円下げとなった。むね肉もサラダチキン等の需要は継続しているものの、安価なタイ産の出回りもあり月初め277円から月末268円と小幅な下げとなった。しかしながら日別では昨年2月以来の260円台に突入した。</p>
見通	<p>(1) 今年は梅雨明けが早まったが、もも肉は例年暑さからの需要減退で下げ基調で推移するため、7月のもも肉は月平均で540円と予測する。また、むね肉はチキンカツ・焼肉用・サラダチキン等の需要もあり、保合い圏内の270円と予測する。</p>

## 実績

### 生産状況

単位:千羽、千トン、%

	H30年5月推計実績		H30年累計		H30年6月計画		H30年7月計画		H30年8月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	59,962	102.2%	300,068	101.7%	58,185	100.7%	59,220	102.0%	64,169	101.0%
処理羽数	59,238	103.0%	288,831	103.1%	56,959	100.3%	55,506	102.8%	55,969	101.9%
処理重量	177.3	101.6%	864.4	103.2%	169.1	97.7%	161.8	101.4%	162.8	101.7%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

### 輸入動向

単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H30年2月	46.7	45.8	102.0	37.0	27.5	134.9	83.7	73.2	114.3	55.8	44.2
H30年3月	43.4	37.3	116.3	36.1	39.9	90.3	79.5	77.2	102.9	54.6	45.4
H30年4月	49.6	48.7	101.8	41.6	36.7	113.4	91.2	85.4	106.8	54.4	45.6
H30年5月	47.1	46.1	102.2	42.3	38.9	108.6	89.4	85.0	105.1	52.7	47.3
H30年累計	235.1	209.7	112.1	198.8	179.7	110.6	433.9	389.4	111.4	54.2	45.8

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

### 消費動向(2人以上の世帯)

単位:グラム、円、%

### 相場(年別・暦年)

単位:円

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年2月	1,342	1,360	98.7	1,306	1,246	104.8
H30年3月	1,345	1,385	97.1	1,320	1,307	101.0
H30年4月	1,378	1,327	103.8	1,281	1,268	101.0
H30年平均	1,362	1,359	100.2	1,324	1,318	100.5

※参考資料:総務省統計局HP

履歴	もも肉		むね肉		計	
	当年	前年	当年	前年	当年	前年
H24年	563	189	752			
H25年	583	246	829			
H26年	626	294	920			
H27年	639	336	975			
H28年	621	255	876			
H29年	626	315	941			

### 在庫状況

単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年1月	28.2	22.8	123.5	150.7	114.4	131.8	178.9	137.2	130.4
H30年2月	27.0	23.9	112.6	160.0	115.4	138.7	187.0	139.3	134.2
H30年3月	28.4	23.1	123.2	148.1	112.7	131.5	176.6	135.8	130.0
H30年4月	25.9	25.2	102.9	144.8	110.6	130.9	170.7	135.8	125.7

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

### 相場(月別)

単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年3月	637	674	94.5	305	313	97.4	942	987	95.4
H30年4月	608	658	92.4	295	325	90.8	903	983	91.9
H30年5月	585	645	90.7	282	337	83.7	867	982	88.3
H30年6月	564	627	90.0	272	338	80.5	836	965	86.6
H30年7月	(540)	587	92.0	(270)	328	82.3	(810)	915	88.5
H30年8月	(540)	563	95.9	(270)	323	83.6	(810)	886	91.4
H30年平均	622	662	94.0	295	308	95.7	917	970	94.5

※()は見通し

※1-6月平均